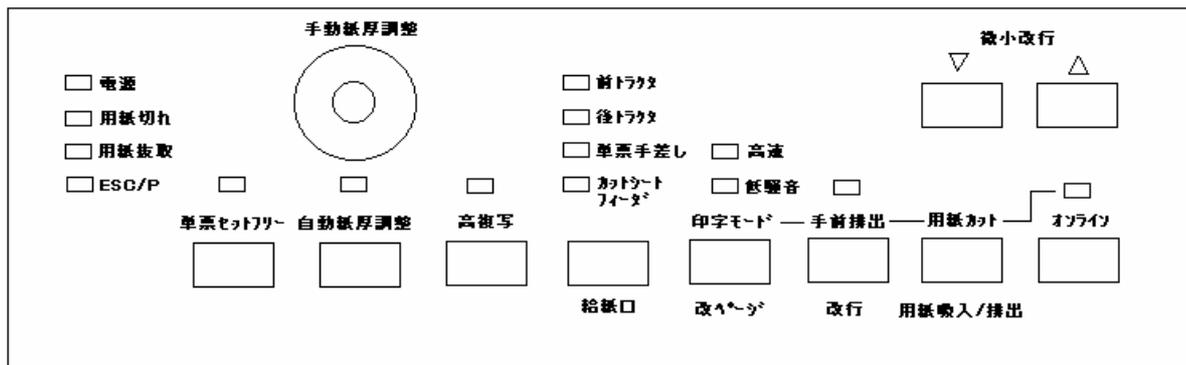


# マニフェスト印刷用ドットプリンタ FIT7450の操作方法

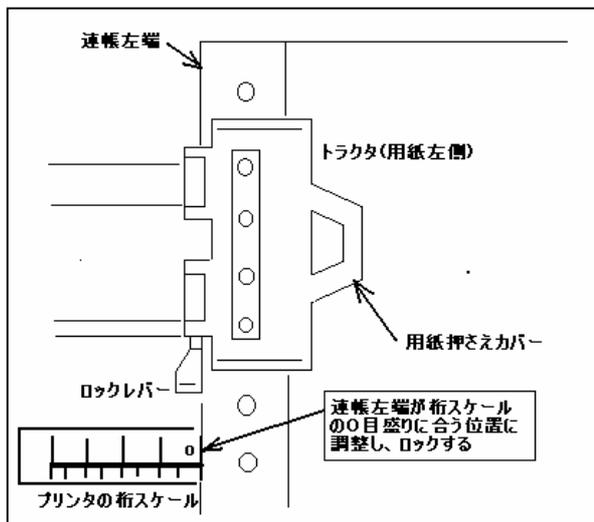
## 1. プリンタの操作パネルの配置図



fit7450プリンタの操作パネルは上図の通り。以降の操作手順説明で本図を参照してください。

## 2. 連帳の印刷

### 2-1 トラクタへの連帳セット



- 1) プリンタの電源を入れる。  
※ プリンタはあらかじめパソコンに接続しておき、パソコンの電源投入の前にプリンタの電源を投入すること。あとの接続や電源投入ではパソコンからの印字指令を受けない場合がある。
- 2) 操作パネルのオンラインスイッチを押し、オフライン(ランプ消)にする。
- 3) 給紙口スイッチを押して、トラクタを選択。(前トラクタか後トラクタを選択)
- 4) プリンタの単票テーブルを開く。(前トラクタの場合)
- 5) トラクタのロックレバーを解除し、用紙押さえカバーを開く。
- 6) トラクタのピンに連帳の穴をセットし、用紙押さえカバーを閉じる。

- 7) 連帳の左端面がプリンタに刻み表示されている桁スケールの0目盛りに合う様左右に調整し、ロックレバーを固定する。

※注意: 左トラクタを右一杯に押し付けた場所が0基準位置ではなく、約2mm程度行き過ぎている。

- 8) プリンタの単票テーブルを水平に戻す。(前トラクタの場合)
- 9) 用紙をトラクタからプリンタ印字部に吸入させる前に、操作パネルのオンラインスイッチ上のランプが消(オフライン)になっている事を再確認する。  
※ ランプ点灯(オンライン)では用紙が吸入できない。
- 10) 操作パネルの用紙吸入/排出スイッチを押す。  
⇒連帳用紙が印字開始位置に吸入される。オンラインランプが自動で点灯する。

## 2-2 連帳への印刷

- 1) 産廃イチローの印刷を実行する。

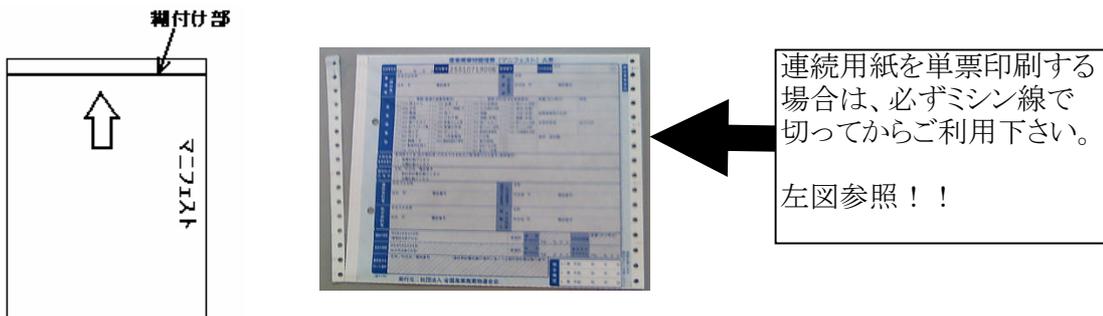
※注意 連帳用紙が吸入されていない場合や、連帳吸入前にオンライン状態になっていた場合は、パソコンの画面にエラーメッセージが出る。  
その場合はオフラインになっている事を確認し(もしオンラインだった場合はオフラインに切り換え)、用紙吸入/排出スイッチで吸入させる。

- 2) プリンタ設定画面で前or後トラクタフィーダ(オートティアオフ有効)を選択している場合は印刷後のマニフェストがミシン目切断位置まで出て来るので、手切りする。  
ミシン目の縦ラインが破れ無いように注意の事。
- 3) そのまま連帳マニフェストを印刷する場合は、用紙先端は手切り位置のままで、次のマニフェストの印刷を実行して良い。(用紙は自動で再度頭出し調整をして印刷を開始する。)

## 3.単票の印刷

### 3-1 単票のセット

- 1) プリンタの電源を入れる。
- 2) 操作パネルのオンラインスイッチを押し、オフライン(ランプ消)にする。
- 3) 単票セットフリーボタン上のランプが点灯している事を確認。  
もし消灯している場合は単票セットフリーボタンを押して点灯させる事。
- 4) 給紙口スイッチを押して、単票手差しを選択。  
※この時連帳用紙が入っていた場合は、連帳用紙が自動で退避してから単票手差しモードに切り替わる。切り換え不良防止のため、完全に切り替わるまで、単票用紙をセットしない事。
- 5) 単票テーブルの用紙ガイドは使わない。テーブルの左端まで退避させて間口を広くしておく事。
- 6) 単票マニフェストは下図の様に、糊付け部を先端にしてプリンタの手差し口に挿入する場合と糊付け部を左にして挿入する場合と2通り利用できます(印刷設定に依存します)



- 7) 単票は用紙ガイドに接触しない様に単票テーブルの中央付近に挿入する。  
挿入位置は単票セットフリーの矢印範囲ならばどこでも良い。傾きも自動矯正される。  
⇒単票用紙が印字開始位置に吸入される。  
オンラインランプが自動で点灯する。

### 3-2 単票への印刷

1) 産廃イチローの印刷を実行する。

※注意 単票用紙が吸入されていない場合や、単票吸入前にオンライン状態になっていた場合は、パソコンの画面にエラーメッセージが出る。  
その場合はオフラインになっている事を確認し(もしオンラインだった場合はオフラインに切り換え)、手差しで吸入させる。

2) 印刷が終了すると、

・手前排出の設定の場合: 用紙抜取ランプが点滅する。用紙を完全に抜き取る。  
⇒オンラインランプが消灯し、オフラインになる。

・後排出の設定の場合: 用紙は後のスタッカに自動排出される。  
⇒オンラインランプが消灯し、オフラインになる。

3) そのまま単票マニフェストを印刷する場合は、次のマニフェストを手差し吸入させ、オンラインランプが点灯した事を確認して印刷を実行する。

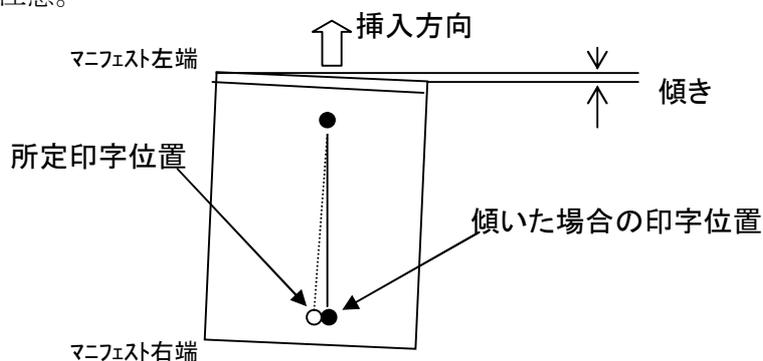
### 4.その他留意事項

#### 1) 単票、連帳切り換え時の用紙のセットについて(補足説明)

<p>単票から連帳 への切り換え</p>	<p>単票使用后、ソフト上で連帳に切り換えて印字実行しても、プリンタは自動では連帳モードには切り替わらない。 <b>＝オフラインのため</b> <b>以下の手順で切り換える事。</b> 単票テーブル上の単票は全て取り除く。 プリンタの操作パネルの給紙口ボタンで前(または後)トラクタを選択。 連帳用紙をセットし、用紙吸入/排出ボタンを押すと吸入される。 なお、連帳用紙が予めトラクタに装着されていた場合は、給紙口ボタンでトラクタを選択すると、自動吸入される。</p>
<p>連帳から単票 への切り換え</p>	<p><b>【連帳がプリンタ内部の印字位置にあった場合】＝オンライン状態</b> パソコンのソフト上で単票に切り換えて印字実行すると、内部の連帳はトラクタ位置まで自動で退避し、単票手差しモードに切り替わる。 操作パネルの単票手差しランプが点灯したら、単票用紙をセットする。</p> <p><b>【連帳がトラクタ位置にあった場合】＝オフライン状態</b> 連帳使用后、ソフト上で単票に切り換えて印字実行しても、プリンタは自動では単票モードには切り替わらない。以下の手順で切り換える事。 連帳はトラクタ位置のままよい。単票はまだ単票テーブルに乗せない事。 プリンタの操作パネルの給紙口ボタンで単票手差しを選択。 操作パネルの単票手差しランプが点灯したら、単票用紙をセットする。</p>
<p>連帳から連帳 への切り換え</p> <p>前→後</p> <p>後→前</p>	<p><b>【連帳がプリンタ内部の印字位置にあった場合】＝オンライン状態</b> パソコンのソフト上で他方のトラクタに切り換えて印字実行すると、内部の連帳はトラクタ位置まで自動で退避し、他方のトラクタモードに切り替わる。 他方のトラクタに連帳用紙をセットし、用紙吸入/排出ボタンを押すと吸入される。 なお、連帳用紙が予めトラクタに装着されていた場合は、ソフトの印字実行のみでトラクタから自動吸入される。</p> <p><b>【連帳がトラクタ位置にあった場合】＝オフライン状態</b> 連帳使用后、ソフト上で他方の連帳に切り換えて印字実行しても、プリンタは自動では他方のトラクタには切り替わらない。以下の手順で切り換える事。 プリンタの操作パネルの給紙口ボタンで他方のトラクタを選択。 他方のトラクタに連帳用紙をセットし、用紙吸入/排出ボタンを押すと吸入される。 なお、連帳用紙が予めトラクタに装着されていた場合は、ソフトの印字実行のみでトラクタから自動吸入される。</p>

## 2) 単票の斜行補正について

単票用紙の斜行は約1.5mm以下に補正されるが、印字行間隔の狭い建設系マニフェストでは印字の右端部で若干印字ずれを起こす事がある。できるだけ垂直に挿入の事。  
また、連帳の耳を破った単票、端面の凹凸が多い場合、及び波うちの大きい場合は傾きが補正しきれない場合があるので注意。



## 3) 単票テーブルは正常な位置でご利用下さい



正常なセット位置



間違えてセットをした例

給紙口が開き、単票テーブルが水平でない

## 4) USBケーブルで接続をした場合によく起きること

USBの差込口を変えるとドライバーの再インストールを要求されそのままインストールをすると印刷出来なくなります。

一度設定をしたUSBの線は違う場所へ移動をしないようにすること。